

MIZBERING

ミズベリング

2014年、
ミズベリング・プロジェクト、
始めよう。

水辺の未来を考える人たちが会う。
たくさんのアイデアとアクションが生まれる。
そして水辺から新しいまちづくりが始まる。
ミズベリング、それは水辺の未来を創る人が集い、
共に動き出すプロジェクト。
さあ、身近な水辺から。みんなで始めよう。



80年間にも及ぶ
アートプロジェクト!!



〈すみだ川アートプロジェクト2014〉
会期:2014/6/14(土)～7/31(木)

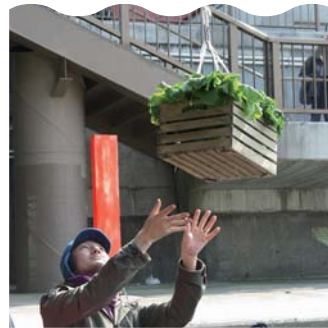
http://ab-srap.com/
http://www.asahibeer.co.jp/csr/soc/activity.html

ご存知だろうか? 80年もの
長期にわたるアートプロジェクト
が東京を代表する河川、隅田
川で展開されている。
その名も「すみだ川アートプロ
ジェクト = S R A P (Sumida
River Art Project)」は、重要
な地域資産である隅田川に着目
し、その再生を願い「80年後の
隅田川のために、アートを通し
てできること」を追究する活動。
地域市民、アーティスト、そして隅
田川沿いに本拠地を構えるアサヒ
ビールなど、さまざまな立場の人
々が集い、みんなでたのしむ「川
の手文化の発信」を続けている。

MIZBERING

ミズベリング

ミズベリング・プロジェクトとは
かつての賑わいを失ってしまった日本の水辺の新しい活用の可能性を、創造していくプロジェクトです。
ミズベリングは「水辺+RING(輪)」「水辺+R(リノベーション)+ING(進行形)」の造語。
水辺に興味を持つ市民や企業、そして行政が三位一体となって、
水辺とまちが一体となった美しい景観と、
新しい賑わいを生み出すムーブメントを、つぎつぎと起こしていきます。



BO菜!?

ボートと野菜が東京を救う??

BOSA=B0at and Vegetables Save Tokyo!

2010年3月、船橋の港、日
本橋の防災筏橋、門前仲町の
ギャラリー、新木場のマリナを
船で結び、人とモノを送り届け
る実験イベントが行われた。野
菜の名は「BO菜」、BOATと野菜
からつけられた名前だ。ここでな
ぜ、そのイベントが行われたのか?
かつて水の都江戸では、多くの
物資が日本中から船で運ばれ、
人々の生活を支えていた。それは、
地名が東京と変わってからも、
変わらず続く。今日のように陸
上輸送が主役と代わったのは、
ほんの70年前くらいのこと。さ
っけは鉄道と自動車だった。
そして時は移り、水上輸送の
効率が再び確認されるきっかけ
が起きた。1995年、阪神淡路
大震災、高速道路は倒壊し、ゼル
は倒れ、陸上あらゆる移動手
段が遮断。大阪-神戸間は、しほ
らにつけられた名前だ。ここでな
ぜ、そのイベントが行われたのか?
かつて水の都江戸では、多くの
物資が日本中から船で運ばれ、
人々の生活を支えていた。それは、
地名が東京と変わってからも、
変わらず続く。今日のように陸
上輸送が主役と代わったのは、
ほんの70年前くらいのこと。さ
っけは鉄道と自動車だった。
そして時は移り、水上輸送の

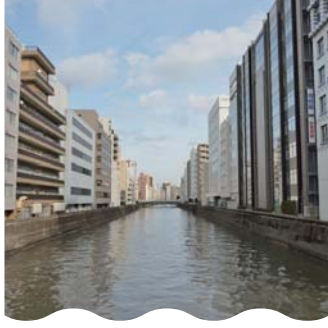


© 船橋市(東京水辺倶楽部)



イラスト:Open A

かつて大阪だけでなく江戸も
水の都と呼ばれていた。川とい
う川には大小の船が数多く行き
交い、その賑わいは数川広重の
浮世絵「名所江戸百景」に六十
余州を回遊会」なども伺える
ほど、人と暮らした賑わいが水
辺と共に築かれてきた風景を伝
えてくれている。
いまの水辺はどうか? 多く
の水準の歴史が、河川整備とい
う防災政策のもと行政主導で
新しく築かれてきた。自由が
効かない公共空間をつくりだし
ていた。また高度成長時代の土
木整備は、たとえば「カミソリ
堤防」と呼ばれる屈強なコンク



海外では水と暮らしが一体
となって美しい景観をつくら
せている。たとえば、北のウェ
ネツィア、船を浮かべ、恋人、
友達、家族で、ゆらゆら運河上
のカフェから眺めて、挨拶をか
わたり、手を振りあつたり。
はたまたボートハウスに住んで
いる人も多い。なんと、2500軒
もあるそう。水辺のある生活が
当たり前に暮らしに溶け込んでいる。
海外には、このアムステルダム
だけでなくNY、ロンドン、パリ、
デンマークなど水辺を上手に生活
している。市民みんなにマイボ
ートがあるのかと思う程、ひ
っきりなしに小

水辺のアクションをみんなで起こせば、 日本のまちはもっともって輝くはずだ。

ミズベリング、5つのアクション

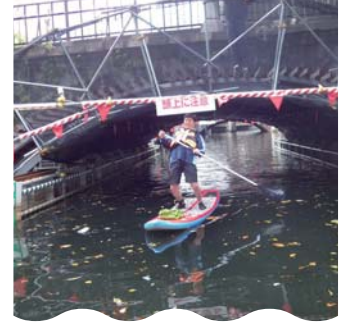
- 1 つなごう**
「水辺の未来」を考える人が
つながれば、大きなムーブメントが
始まるはずだ。
- 2 かたろう**
「水辺の可能性」をみんなで掘れば、
思いも寄らないアイデアが
浮かぶはずだ。
- 3 ためそう**
「水辺でのチャレンジ」が増えていけば、
世の中はもっと水辺に
注目するはずだ。
- 4 つくろう**
「水辺を通じたまちづくり」が始めれば、
日本のまちは世界がうらやま
になるはずだ。
- 5 育てよう**
「水辺での暮らし」をみんなで
育てていけば、人生はもっと
豊かになるはずだ。



新・感・覚! SUPで水上のお散歩。



最近の水上事情で、いま「キ
テル」ブームをお教えしよう。
それは「水の上を歩く」ボート、
「SUP」と書いて、サブスビド、
スタンドアップパドルの略称で、
言葉通り、立って漕ぐ乗り物だ。
パドル(オール)を使って漕ぐの
で、パドルボードとも呼ばれる。
発祥は、ハワイ、あるサーファー
が、行動範囲が狭く同じ波を回
遊するためにパドルを使って
移動して波を求め、またパドル
も使用して波を乗りこえるとい
う目的で産み出された。
スポーツとしては2000年ごろ
から世界各地でブームとなり、
日本でも湘南をはじめ、各地で
見られるようになった。
SUPはサーフィンと比べて安定
した乗りもの、波乗りだけでな
く、ちょっとした遠出にも使わ
れる。
海に留まることなく、運河や川
へもGO!
乗り心地は? という点、まるで
水上を軽快にお散歩する気分。
最近では、空気で膨らませるタ
イプのSUPも誕生した。3mの
ボードも折り畳めば、ちょっと
大きめのリュックサックに入る
サイズに、持ち運びにも便利だ
し、一般の住宅事情にもマッ
チしている。まさに、生活によ
り、そんな水上を楽しむギア、
それがSUPだ。



体験するならこちら! 大阪「日本SUP協会」http://www.citysup.jp/ 横浜「水辺荘」http://mizube.so 「横浜SUP倶楽部」http://yokohamasup-club.com



たとえば、アムステルダムのように。

海外では水と暮らしが一体
となって美しい景観をつくら
せている。たとえば、北のウェ
ネツィア、船を浮かべ、恋人、
友達、家族で、ゆらゆら運河上
のカフェから眺めて、挨拶をか
わたり、手を振りあつたり。
はたまたボートハウスに住んで
いる人も多い。なんと、2500軒
もあるそう。水辺のある生活が
当たり前に暮らしに溶け込んでいる。
海外には、このアムステルダム
だけでなくNY、ロンドン、パリ、
デンマークなど水辺を上手に生活
している。市民みんなにマイボ
ートがあるのかと思う程、ひ
っきりなしに小



先進事例に学べ!

「水都大阪」という「水の都」としての大阪を復活させるプロ
ジェクトをご存じだろうか?
2011年から2020年までの長期
プロジェクトで、「水都大阪 水
と光のまちづくり構想」を掲げ、
関西全体を元気にする「大阪の都
市の向上」が目標。市民・地域・
NPO等との連携を強化して、水
辺で「オモイ」ことをやりた
い人が集まり、オール大阪での魅
力を発信。水辺でビュッケット
艇でまちをめぐったり、ごま
ちとアートを楽しんだり、大阪
で「オモイ」と言われつつある
ため、水辺を使い回してしま

外国人観光客にも人気! 広島の水辺

広島市はまちの中心部を6本
の川が流れている「水の都」。
その思われた水辺を都市づく
りに活かすべく、戦後間もない
ころから水辺を緑地として整備
してきた。今では延長25kmの
緑豊かな河川緑地となり、水
辺が形成されている。水辺
に使用してもらったため、市
民・県の協力で「水の都ひろ
しま」構想(2003年)を策定。市
民や企業と行政が一体とな
って、「水辺のオープンカフェ」や「水
辺のコンサート」などを開催。海外
からの観光客にも愛されるま
ちづくりに取り組んでいます!

水辺の利用は「ダメ! ダメ!」から、「やれるかも!」へ。

河川は、水害から市民生活を守るという観点から、
国や都道府県ごとに整備され厳格に管理されてきました。
しかし昨今、水害対策だけでなく、水辺の美しいまちづくりを目指して
規制緩和が進み、市民や民間のチカラ(カタイお役所では考えつかない
知恵ノウハウ!)を積極的に活かそうと、全国の水辺は動き出しています。
商業ベースで水辺にカフェやテラスを設置したい!とか、
イベントやコンサートをしたい!等、
水辺を愛してやまない皆さんの思いや夢をカタチにする可能性は、
日々高まっています。

<旧来の規制>	<規制緩和で>
主体は公的機関に限定。 公共性が重視されていた。	民間の参入が可能。 カフェ施設やイベント実施 などが可能に。
飲食施設	OK
民間施設	OK
売店	OK
船上食事施設	OK
川床	OK

